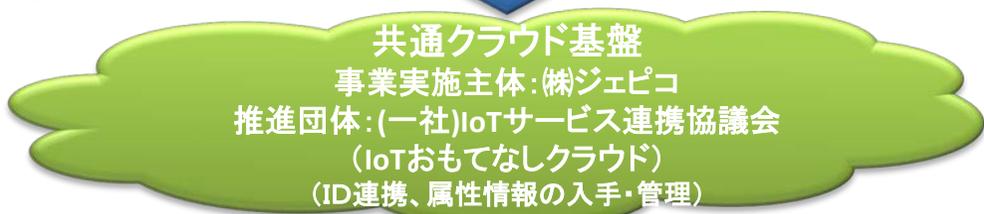


平成28年度IoTおもてなしクラウド事業の概要

平成29年4月18日

共通クラウド基盤整備事業

総務省

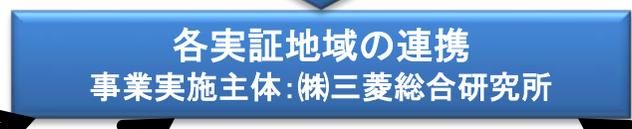


交通系ICカードと各サービスIDを紐付け、様々な利便性を向上



地域実証事業

総務省



(実証内容例)

千葉・幕張・成田地区

- 属性情報やリアルタイムな動線情報に応じた適切なサービス・情報の提供
- 目的地までの自動ナビゲーションや入場・決済等の簡略化

など

(一社)おもてなしICT協議会

渋谷地区

- 街のイベント入場時にICカードやスマートフォン等で楽しむ仕組みを構築
- 回遊行動誘発拠点において、属性情報に応じたコンテンツを配信

など

(一社)渋谷クリエイティブタウン

竹芝エリア

- デジタルサイネージを連携し、緊急災害時等の情報を多言語でリアルタイムに一斉配信。
- デジタルサイネージとスマホの連携による観光情報等の最適な入手。

など

(一社)CiP協議会

港区地区

六本木・虎ノ門エリア

- ホテルやのチェックイン手続きや販売店での免税手続きを効率化
- レストランにおける言語・食の禁忌などに対応したメニュー表示

など

(一社)ジャパンショッピングツーリズム協会

乃木坂エリア

- 美術館の入館チケットの電子化、チケットレス入場
- 属性情報に応じた表示言語、表示内容等の最適化

など

(一社)IoTサービス連携協議会

複数の民間事業者が訪日外国人の属性情報等を共有・活用するための基盤的なシステムの構築や、ルールを策定するための実証を実施。

共通クラウド基盤構築実証概要

- エンドユーザが自己の属性情報の登録を行うPDS (Personal Data Store)の機能を利用し、サービスへの情報提供を自ら管理するVRM (Vendor Relationship Management)を実現するIoTおもてなしクラウドを構築
- IoTおもてなしクラウドの中では、ユーザ属性情報の登録やその公開範囲を設定できる「おもてなしポータル」や、サービスがサービスの構築を行うことを支援する「開発者サイト」を提供

地域実証概要

IoTおもてなしクラウドを活用し、3地区で地域実証を実施

千葉・幕張・成田地区(モニター数:計1,800名)		スムーズなホテルのチェックイン、美術館へのチケットレス入場、デジタルサイネージによる自国語での観光情報・経路案内等の提供、レストランでのスムーズなサービスの提供、多言語翻訳の実証を実施
於:千葉市美術館、イオン幕張 等		
港区地区	六本木・虎ノ門エリア(モニター数:計249名)	空港からリムジンバスを利用しホテルに宿泊する訪日外国人に対するスムーズな情報伝達・チェックイン、スムーズな免税手続き、レストランでのスムーズな情報提供の実証を実施
	於:羽田空港国際線ターミナル、ホテルオークラ東京 等	
	乃木坂エリア(モニター数:計96名)	美術館へのチケットレス入場、デジタルサイネージによる自国語での文化情報の配信を実施
	於:国立新美術館	
竹芝エリア(モニター数:計94名)	デジタルサイネージによる自国語での観光情報・経路案内や、災害情報の提供の実証を実施	
於:竹芝客船ターミナル、汐留ビルディング 等		
渋谷地区(モニター数:計134名)		音楽イベントへのチケットレス入場や、デジタルサイネージによる自国語での観光情報の提供の実証を実施
於:渋谷ちかみち総合インフォメーション、eplus LIVING ROOM CAFÉ&DINING 等		